

令和2年第10回 全員協議会要点記録

日時 令和2年7月27日 10:50～11:20 (11:30)

出席者 議員9名

町長、副町長、阿部総務財政課長、大川企画課長、
高橋産業振興課長、酒本産業振興課参事、齊藤議会事務局長

議件：(2) その他

議 長

それでは、議件(2)その他について、何か。
町長。

町 長

何点かありますけど、まず、洋上風車の関係につきましては、急ピッチで岩宇・南後志7か町村、4漁協で国交省並びにエネ庁の方に情報提供をさせていただき、相当この海域が選ばれるには、まだ何もやっていないという状況の中で、果たして引かかるか相当心配しておりましたけども何とか一定の準備段階に進んでいる区域と、訳の分かったような、分からないような決まり方なんですけども。通常は有望な区域として選ばれるんですが、有望な区域の一步手前に選ばれた。まず、テーブルに載ったということは非常にラッキーだったかなと。本来であれば、桧山の方が多分有望な区域に選ばれるだろうと思っていましたけど、そこが逆に後志の犠牲になったのかうちと同じ一步手前の準備段階に進んでいる区域と同等の扱いにされてしまった。多分関係者は、カッカと来ているんじゃないかと思えます。

これも、前に議会の皆さんに、ざっくばらんな話説明させていただきました、昨年来、エネルギー勉強会の中の一環として、核のゴミ、高レベル放射性廃棄物の勉強もしようとして、こういう姿勢に対して少し、洋上の方がランクアップされたのか。作戦はとりあえず成功したと思っております。これからが、大事な話で、今、私がエネ庁にお話しているのは、九州から秋田・千葉・青森と、どこもですね、民主導なんですよね。民間がとにかく前のめりになって3000億、4000億の事業ですから、どこも取りたくて必死なんですよ。ただ、私は、この海域は、官主導でいきたいと。民主導じゃなくて。そのためには、国が少し金を出して、調査費も付けてくださいと、そしてある程度のところまでは国が引っ張っていただいて、最後は民に移すと。そういうやり方を今提案しております、今年

度中に早い時期にそういう形になるか、ならないかというのが見えてくると思う。また見えてきた中で、議員の皆さんに若干、官主導の中で進むことができましたという報告ができるんじゃないかなど。そこが見えてきた中で、もう一回、7か町村・4漁協の協議会の中で今、このエリアはこういう形で進んでいますよという説明を皆さんにさせていただきたいなというふうに思っております、まだまだ時間のかかる話ではありますが、一歩一歩前に進むことができればありがたいなと思っております。

二つ目、前に議員の皆さんと放射性廃棄物の説明会をやった後に、先週、産業団体の責任者の方に集まっていたきまして、同じ勉強会をさせていただきました。その中で出てきた意見がですね、「我々は耳にした。これから寿都町を担っていく若い世代にも同じ話を説明会やってくれないか」と。やはり若い人たちがどう思っているのか、併せてできれば、寿都町の財政状況が将来的にどのようなになるのか、また、人口がどういう形態になっていくのか、そういうのも具体的に若い世代に説明をしていただきたい。その中で、若い人はいろんな考え出てくるでしょうし、最終的には町民、産業団体、議員の皆さんとざっくばらんな、これからの寿都町はどうあるべきかという協議をやっていくのが理想的な進め方じゃないでしょうかと話も一部承っておりますので、そういう形で進めさせていただきたいと考えておりますので、議員の皆様方の御理解をよろしくお願いいたします。

3点目が、小さい話なんですけど、今年の仕事始め4月に副町長が、今、職員相当若く平均年齢若くなっておりますし、この職員をどう意識改革しながら、寿都町行政を動かしていくか、町民へのサービスマンとしてどうあるべきか。それは一昨年、まる元体操の先生先生の講師をいただいて研修会を行っています。肌で感じながら行政マンはどう仕事をしていったらいいのか、訓練含めてやっています。その一環として、昨年、金曜日に一組二人の二組体制でゴミ集め、これも実施していくことになりましたし、いろいろな部分で変化が見えてきたなと思っております。究極は少ない人数でどう行政をつかさどっていくか、その浮いた金をどう地域の人材育成・産業振興に使っていくか、これは簡単なことではありませんけれども、究極はそういうふうに皆さんと協議をしながら築きながらどう連携していくかというのも大事な話でありますので、相当時間はかかると思っておりますけど、副町長中心に職員のレベルアップを目指している中であります。ただですね、ただ頑張れ、頑張れと言ったって見返りが無いと人間というのはやはり、大した大きな金額じゃないんですけど、できれば今年、副町長賞を頑張ったチームに。年末はいつも一杯飲み・忘年会・新年会やります。その一部を副町長賞として出すというのも一つの方法なのかなど。これは税金でありますので、そんな金を使っていいのかという議論もあるとは思いますが、トータルにして何チームか、年間20万くらいあればそ

	<p>こら辺は職員の皆さんに表現できるのかなと思っております、その予算の部分って全然組んでいないものですから、議員の皆さんの了解を得ながら、どこかの時点で表現をさせていただきたいと。職員研修費の中に含めたらいいのかというのも含めて、ちょっとある時期に提案も予算も見える化していきたいというふうに考えておりますので、御理解していただければありがたいというふうに思います。</p> <p>今日はその3点、御報告と説明をさせていただきました。以上です。</p>
議 長	<p>よろしいですか。</p> <p>越前谷議員。</p>
越前谷議員	<p>職員の地域への奉仕ということで、国道の草取りなんかもやって、寿都は殆どないに等しいきれいな状態ですけど、ほかの町村気になってみるとすごいですよね、ああいうところを見ると職員やっているのはすごくいいことだし、副町長賞もいいことだと私は思います。</p> <p>それからエネルギー勉強会の関係なんですが、若い人たちの理解をしてもらおうということで、お話していかなきゃならないとは思いますが。根っこは洋上風力っていうものが主になって、それがランクアップされたということで、いい悪いは別として、そういうエネルギーに対する放射性廃棄物についても若い人たちに理解していただくということは、必要なことだなと思います。</p> <p>最終的にどうなるかは分からないけど。</p>
町 長	<p>先の話ですから。</p>
議 長	<p>ほかにありますか。なければ・・・</p> <p>沢村議員。</p>
沢村議員	<p>三番目の若い人の副町長賞の件、確かに若い人方がボトムアップでいろんなことをしながら盛り上げていくっていうことは全然反対しないんですけど、ただ、役場職員としてやはりあるべきどういう事業がどういう形でやるかっていうのは、ちゃんと理解していかないと。それと、税金を使うとか予算を使うとかってなると、ちょっと首傾げるかなって。その人材育成に関わるものと、そういうものが政策的リンクをどうやっていくかというのは、もうちょっと議論してみた方がいいような気が。結論出すにはどっちも必要な気もするんだけど。だけどやはり変な話、労働組合もあるし、やはり自分の仕事の範疇と能力波及をどうするかということと、そういうものも併せて。それから評価のあれもやっているんでしょう。そういうものも絡めながら、そういうことをやる人が高評価されて、そうい</p>

	<p>うものをやらない若者が評価されないとかっていうようなものにも繋がるかどうかという懸念もちょっといろいろあるものだから。中身はよく分からないんだけど、だけどちょっと懸念のことだけ申し上げておきたいなというふうに思うんですけど。その上で、やはりこういった実績があれば成績に報いるというのは一つの方法であるのは間違いない。辻褄(?) あってないんだけど、理解をしていかないと。今、聞いていて思ったことを申し上げておきます。</p>
越前谷議員	<p>沢村議員に関連して。 町長あれですね、個人に対してでなくチームに対してということですね。</p>
議 長	<p>町長。</p>
町 長	<p>今、評価の関係で国が進めているのは、個人個人の評価です。ただ、寿都は、70人ぐらいの少人数の職員体制の中で、個人評価をはっきりさせることが果たしているのかなと、私は個人的には良くないと思います。これが大規模で何百人、何千人という話であれば理解はできるんですけども。</p> <p>とにかく少ない人数で皆さん協力し合う、課の中でも協力し合う、課を越えて協力し合う、そこでレッテル付ける「あんたは優秀だ、優秀じゃない」と、それ付けること自体、チームワークを崩すことにも繋がりがねない。ですから、やはり課長を中心に。やはり当然優秀な職員と若干見劣りする職員がいることは事実です。それをどう管理職がうまく、使いこなすかというのは管理職の力量を問われることで、ここを上手にチームとしてまとめていく、ということは職員もさることながら管理職の力量も今回のこの副町長賞の中に、私は含まれていると感じておりまして、仮に片岡チームが今回獲りました、ほかは、「来年は負けないぞ」と「自分たちが獲るぞ」といい意味での、そういう切磋琢磨に繋がるように。ここは町長賞ではなく副町長賞としたのは、事務方のトップでありますから、ここをうまく副町長がリードしながら、課のボトムアップを図っていくということを目的に、最終的には役場の職員のためじゃなくて、結果として住民に、各産業団体に繋がる話なので、ここを少し上手によその自治体とは違う形で寿都のボトムアップを図っていきたいというのが私と副町長の切なる思いなので、その点についても理解していただければありがたいと思います。</p>
議 長	<p>よろしいですか。今日の全員協議会はこれで終わらせていただきたいと思います。</p>

議件外（全員協議会のあり方） 町部局退席

議長	<p>すみません。さっき全員協議会これで終わらせていただきますといたんですが、もう少し続けさせていただきます。</p> <p>執行者を入れての協議会はこれで終わりますけど、もう少し延長したいと思います。先程、協議会のあり方について。</p>
副議長	<p>執行者も入っていた方が良かったんじゃない。</p> <p>お互いに話し合った方がいい。さっきの話だけ。</p>
越前谷議員	<p>中々、日程作るのも難しいと…</p>
木村眞議員	<p>町長、来客あるとのことだから。</p>
副議長	<p>副町長でもよかったんだけど。</p> <p>要は、さっきいろいろ事前に示していただきたいという話があったんだけど、議長も私も30年近い議会議員生活しているんだけど、うちの町はほかの町にしたら、執行者の説明は、本当に真丁寧にしています。本来やはり、ここまでしちゃったら本会議で質問できなくなっちゃう。だから、あんまりやり過ぎると、傍聴に来ている人たちは何にも面白くないと思う。だから、本来ね、今回は緊急性あるコロナの関係、急ぐものがあったんだけど、本来の姿というのは、議員の方から議案が渡ったときに「これはどうなっているんですか」と行くべきだと思う。執行者は私たちにそういう説明を真丁寧にしているんだけど、本来そういう姿ではない。だから私たちが疑問に思うことは、局長を通じたりなんざりして「これはどうなっているんですか」と。そうすると議論があと30分前でなくて1時間前から全員協議会をやるとか、そういう形にもっていかないと。全部今まで、こういう丁寧に説明を受けているんだけど、だから段々、本会議での質問が少なくなってきちゃっている。だから、本来の姿は議員が自分たちが要求して説明を求めるという形に持っていった方がいいと思う。全部説明したら本会議で説明することなくなってしまうから。緊急性のあるものと今回は7月の臨時会と9月の定例会に分かれていたから、9月の分は誰か疑問があれば、事前に執行者の方に局長を通してやってもらわなきゃダメなんだけど、その辺のことがあるのであれば、早めに言っただけければ、招集時間、それとも本会議の時間を遅らせて協議していきたいと。そういう流れでつくっていかないと、全部説明して話にはならないと思うので。それが、やはり議員活動に繋がっていくと思います。そういう申し合わせをしておかないと、全部説明を受けたら本当に議会にならなくなっちゃうので。本来は、議案出てきたらそのまま、自分たちが勉強しなければならないんだから。そういうことで、大事なことはそういう形で事前に早</p>

	<p>めに集まっていたいただいて協議をする。そういう流れに作っていないと議会がおかしくなってしまうんじゃないかなと思いますので、了解をいただきたいなと思います。いつも、議会の前に資料は局長を通じて出してください。それと同じことなんだけどね。そういうふうに御理解いただきたいなと思っています。ただ重要案件があるときは、特別に前の日とか時間掛けてやると考えています。</p>
議 長	<p>そして、事前の全員協議会っていうのは、例えば、「提案した真意はこういうことでこうなんです」というような、皆様に理解を求めるような説明であっていいんですけど、そこで細やかな質問というのは、本来事前審議になってしまいますので、本会議場でやっていただくと非常に本会議も活発化していいんじゃないかなと、そのように思います。</p> <p>そういった形でこれからも対応していただければと思います。</p>
越前谷議員	<p>はっきり言いますと、ほかの町村どうか分からないけど、知っている近隣の町村の状況からすると、うちの進め方は、すごくいい進め方だと思っているんです。だから、これはこのままでいいと思います。</p> <p>ただ、本来は副議長言ったように個人で質問なりしてそれに答えていただくと、それが本当だと思う。ただ、全体として、ある事業があつて多岐にわたるような関連するものがあれば事前に必要だということなんだけど、言われなくても町長の方で出してくれていますので、その辺については、いいんでないかと思います。若干、今日は私も質問したんですけど。</p>
副議長	<p>今日の協議会の件は、見たらわかるけどコロナの緊急性あるのが来ているから、どういうふうになるか分からない中で進めている、そこは理解してやらないとならないかもしれない。議員も理解してやらなければならぬし、執行者の方ももう少し余裕をもってやればいいんだけど中々、難しい。</p>
議 長	<p>今回あれじゃないですか。全員協議会の資料をギリギリまで検討していたみたいですから、そういう部分で。そして、盛りだくさんになっちゃったものだから、説明の時間としては足りなかったかもしれないけど、それは理解していただければ。これから、内容が深かったり重たいものについては、全員協議会は事前にどうすればいいか、私も副議長も局長も含めて考えていかなきゃならないことですけど、要するにこれはちょっと時間とった方がいいんじゃないかとか、例えば本会議の時間をずらすとかそういう方法もあるかもしれません。そういうときも来るかもしれません。その辺は御理解いただきたいと思います。</p>

副議長	<p>重大案件は、事前に皆さんで協議した方がいいと思う。</p> <p>さっき言おうかと思ったんだけど、勉強会の話。それについての若い世代に勉強会とか皆で討議しましょうといった話だったけど、それだけじゃなくて、町の将来を、これからどうなるかということ若い世代で協議する場所が必要だなと。このままうちらが生き残れるという今瀬戸際のところだから、そっちは洋上風力と廃棄物の方はいいんだけど、別にやはり考えて将来を担う若い世代に協議する場を作るべきじゃないかと思っていきますので、それは後で町長の方に伝えておきますので。それを考えていくべきじゃないですか、これからは。</p>
越前谷議員	<p>そうですね。</p>
副議長	<p>私たちが一番若い川地君か、川地君が56歳、あと20年したら76だもん。20年後には分からんからね。だからやはり次を担う人たちと議会としても将来を協議していかないと、そういう場が必要だと思いますので。それで御理解しておいてください。</p>
議長	<p>そういうことで。これでよろしいですね。</p> <p>これで閉じたいと思います。</p> <p>このあと、常任委員会の打ち合わせあります。</p>